

## 第15回交通政策審議会航空分科会基本政策部会

日時：平成26年4月23日（水）16：00～18：00

場所：中央合同庁舎3号館 11階 特別会議室

主なご指摘：

### <基本政策部会とりまとめ(案)について>

- 広範に渡るテーマを議論し、その取り組みの方向性を示したという点は良いと思う。ただ、テーマによって濃淡があると思うので、プライオリティの設定など、今後の展開を考えていく必要がある。また、プライオリティの設定にあたっては、問題の重要性、緊急性、難易度を的確に把握する必要がある。
- 議論されたそれぞれのテーマについて、時系列的な行程表を作成し、いつまでにどこまで実行するかを示しておけば、今後のフォローアップもやりやすい。
- テーマによってめりはりが必要。例えば、2020年のオリンピック・パラリンピックなど期限が決まっているものに向けて実施するものと、中長期的な視点で淡々と実施していくものとを分けて考える必要がある。
- とりまとめの中身を実施していくにあたって、期限、主体を明確にする必要がある。個々の問題について、誰が、いつまでに取り組むかを、明示できるところは明示すべき。
- 航空ニーズの創造を積極的に進める上で、行政が先回りして動き、ボトルネックを解消していくことが必要であり、航空行政として、その政策の進め方を整理しておくことが重要である。
- 交通政策基本法にあるような、関係者の責務・連携といった観点からも踏み込めれば良かったが、今後はそこを含めた展開を見据えて、長期的な視点で政策を考えて行くことが重要である。

以上